第６次廿日市市総合計画
基本構想

挑戦！ 豊かさと活力あるまち はつかいち

～夢と希望をもって世界へ～

平成 28 年３月

広島県廿日市市

また、めざす将来像には、市民だけでなく、働く人、訪れる人の視点も尊重し、新たな視点での施策展開や、人・ものが活発に動くことで活力が創出できるまちのイメージとして、「挑戦！　豊かさと活力あるまち　はつかいち　～夢と希望をもって世界へ～」を掲げています。

幸福や豊かさ、夢や希望は市民の数だけあり、「廿日市市だからこそかなえることができる」と思っていただける、そのようなまちを創ってまいりたいと考えています。

人はまちの要です。多様な主体がつながり合い、子どもから高齢者まで、年齢、性別にかかわらず、持てる力を十分に発揮できるまちをつくるため、市民の皆様をはじめ関係団体など多様な主体の各々の活動に加え、相互に連携し、協働によるまちづくりをさらに進めてまいります。

終わりに、市民アンケートやインタビューへの参画を通じ、貴重な意見や提言をいただきました市民の皆様をはじめ、総合計画審議会委員の皆様、市議会議員の皆様など、計画の策定にご協力いただきました方々に心から感謝申し上げるとともに、計画の実現に向け、第6次総合計画による新たなまちづくりへの参画と一層のご協力をお願い申し上げます。

平成二十八年三月

廿日市市長　眞野勝弘

はじめに

本市は、山から海に至るまでの豊かな自然に恵まれ、また、歴史・文化・産業などの面において多様性を有し、特に世界遺産を擁する宮島は国内外から多くのお客様が訪れるなど、日本の縮図ともいえる多様な地域特性と多彩な魅力や資源を有するまちです。

こうした多様性をいかし、持続可能で自立・発展する都市へ進化することをめざし、第５次総合計画に基づいたまちづくりを進めてまいりましたが、この間、人口減少や超高齢社会の進行による地域社会の維持や地域経済の衰退が懸念される一方、産業・経済のグローバル化への対応、昨今の大災害の発生による防災意識の高まりなど、本市を取り巻く情勢は大きく変化しています。

このような状況の中、自然、歴史・文化などの貴重な資源を次世代につなぎ、本市がさらなる発展、飛躍を遂げるため、二十年後、三十年後を展望しつつ、今後十年間のまちづくりの指針として、第６次廿日市市総合計画を策定いたしました。

この計画は、市の最上位計画であるとともに、市民と行政がともに考え、ともに行動し進めるまちづくりの計画であり、まちづくりの基本理念は、市民の暮らしに視点を置き、「市民一人ひとりが幸せに暮らせるまちづくり」としています。